

【協議事項 4】 2023 年 11 月以降の「じゃおニュース・会員だより」

多摩・田園 竹内 純一

じゃおニュースの会員だよりについて、ご意見を伺います。会員だよりは 2023 年 11 月で五十音順の 3 周目が終わります。2023 年 12 月以降も継続するか、もしくは 2023 年 11 月で一旦中止するか、判断しなくてはなりません。この場から検討を始めたいので、よろしくお願いします。

目的

1. 会報としてのじゃおニュースを魅力的にすること。会員の利益になること。
2. 対外的にはじゃおクラブとしての広報に役立つこと。

対応策（案）

1. 活動報告を増やす。同時に会員だよりは自由投稿に切り替える。
 - A) 目標は現在の 2 倍程度（年間 100 本）程度。（じゃおニュースの記事数を維持できる。）
 - B) 本部（または地域）に記者を置く方法も考えられるのではないだろうか。
2. 会員だよりは従来通り、五十音順での執筆依頼を継続。問題は執筆を好まない会員には負担感があること。
3. 会員だよりを自由投稿とする。投稿が大幅に減ることも懸念される。参考情報

会員アンケートの要点（2021 年 1 月実施）

1. 身近な記事への関心が高い。

「興味のある記事は何ですか」に対して 70%が「地域じゃおの活動報告」と回答。
興味のある記事の上位は「地域じゃおの活動報告」（70%）>「会員だより・特別寄稿」（63%）であった。
2. 「記事の執筆を依頼されるのは負担に感じる」が 18%ある。

2022 年の記事の数（括弧内は 2021 年の数字です。）

	2022 年	2021 年	備考
特別寄稿	9	3	2022 年に増えたのは県央の連載記事を掲載したことによります。
会員だより	43	46	年々減るような傾向はありません。
活動報告	46	25	2022 年は回復傾向ですが元には戻っていません。
合計	98	74	

地域ごとの活動報告記事

コロナ禍が収束したことで、行事が再開され、それに伴って活動報告が増加。

コロナ禍以前の 2017 年から 2019 年の平均は 67 本でした。2022 年は当時の 2/3 です。

現状は、①取り上げやすい行事（街歩き・ウォーキング・サロンなど）、②工作教室・地域の行事への出展など（ボランティア及び広報的価値のあるもの）、が多い。

	2022 年	2021 年	備考
湘南	5	3	現在「農園日記」を毎月投稿中。
県央	14	5	
ベイサイド	8	4	
多摩・田園	19	3	グラファーズの活動報告が定期的に投稿されている
合計	46	15	

過去 5 年間の会員だよりの投稿数

	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	平均
投稿数	44	42	46	49	43	45

投稿数は横ばいと思われます。

会員だよりの執筆順が回ってくる年月

	1 周り目	2 周り目	3 周り目
年月	2 年 5 カ月	1 年 11 カ月	1 年 10 カ月

「順番が早く回る」傾向が見て取れます。これは、過去 5 年間で会員数が減少したことの影響が大きいようです。⇒追加：運営委員会での議論において「2 周り目以降、会員だよりの執筆順が早く回るようになったのは、毎月の執筆依頼を 5 人から 6 人に代えた影響が大きい。」との指摘がありました。